

第3回

## ギリシアと都市国家

監修・講師  
本村凌二

### 学習のねらい

紀元前8世紀ごろ、ギリシア人による都市国家ポリスが各地に成立した。なかでもアテネでは、平民たちが貴族に独占された政治への参加を求めることで、民主政の基礎が築かれた。その過程で制定された行政単位デーモスは、デモクラシー（民主主義）の語源になっている。さまざまな改革によって民主政が実現していく過程をみていくとともに、その後ギリシアの覇権をにぎったマケドニアの王、アレキサンドロスの東方遠征がもたらした影響について考える。

・	<都市国家の形成>	・
・	アテネ ポリス（都市国家） ソクラテス 哲学 アリストテレス	・
・	<ギリシア民主政治>	・
・	平民 重装歩兵 陶片追放 デーモス ペリクレス 民主政	・
・	<地中海交易とヘレニズム>	・
・	マケドニア王国 アレクサンドロス（大王） ヘレニズム文化	・

### 都市国家の形成

古代ギリシアでは、アテネやスパルタなど多くのポリス（都市国家）が栄えた。ポリスでは小高い丘（アクロポリス）の上に建てられた神殿を中心に、人々が社会を形成した。そして丘のふもとにある広場アゴラでは、自由な議論を交わす習慣があり、ソクラテスなどによる哲学が誕生した。ソクラテスは賢者らとの問答を通じて、自分の無知を自覚する者ほど賢いという「無知の知」を説いた。アリストテレスは万学の祖と言われ、多方面の学問を集大成した。ポリスの住民は市民と奴隷で、市民には貴族と平民がいたが、やがて平民たちは商工業の発達などにより裕福となり、政治的な発言力を高めていった。

### ■ ■ ■ ギリシア民主政治 ■ ■ ■

裕福になった**平民**の中には、自ら武器などを買い**重装歩兵**となって戦争に参加する者が増え、貴重な戦力となると同時に、政治への参加を求めようになった。アテネでは、平民たちの要求を背景に、独裁政治を未然に防ぐ**陶片追放**のしくみや、貴族の政治基盤であった部族制を解体して制定された行政単位**デーモス**などにより、紀元前6世紀ごろには民主政の基礎が築かれた。さらにペルシア戦争では、大量の漕ぎ手による三段櫂船の活躍もあり、それまで武器を買えなかった下層市民たちが参政権を得ていく。紀元前5世紀中ごろ、**ペリクレス**によりアテネの**民主政**が大きく押し進められ、ほとんどの役職が抽選で選ばれるなど、直接民主政が実現していった。

### ■ ■ ■ 地中海交易とヘレニズム ■ ■ ■

紀元前4世紀、**マケドニア王国**がアテネなどポリスの連合軍を破り、ギリシア世界を支配するようになる。紀元前336年に王となった**アレクサンドロス（大王）**は、東方遠征に出発。ペルシアなどを打ち破り、ギリシア、西アジア、エジプトから、インダス川流域に至る大帝國を建設した。これにより東地中海の交易が活発となり、またギリシア文化とオリエント文化とが融合した**ヘレニズム文化**が誕生した。

#### 考えてみよう 調べてみよう

- 哲学のほかにギリシアで生まれた独自の文化には、どのようなものがあるか調べてみよう。
- アテネの民主政が現代の民主政と異なる点について整理してみよう。
- ヘレニズム文化が、その後日本に与えた影響についても調べてみよう。